

サウンディング型市場調査の結果について

1 調査名称

水海道市街地整備事業に関するサウンディング型市場調査結果

2 調査対象者

活用意向のある個人（市内在住または在勤），民間企業，NPO法人等の法人，個人事業主，各種団体

3 実施時期

実施要項の公表	令和6年4月30日
現地調査受付 ※希望者	令和6年5月7日から6月14日まで
現地調査 ※希望者	令和6年5月13日から6月20日まで
対話の実施	令和6年5月13日から6月20日まで

4 参加事業者数

- | | |
|----------------|-------|
| (1) 現地調査参加者 | ・・・1者 |
| (2) サウンディング参加者 | ・・・4者 |

5 調査結果の概要

(1) 対象施設等の整備に関する提案とその効果

- ・公民館と児童センターの複合化整備し，市民の広場との一体的な活用により，幅広い世代にわたる市民交流の場を創出
- ・公民館と児童センターの複合施設をPFI手法による整備を行い，財政支出の平準化を図る。
- ・水海道公民館，水海道児童センター，市民の広場，市民コミュニティホールを一体の施設としてとらえ，子育て家庭支援と多世代交流拠点とする。
- ・市民の広場には日陰や座る場所を設け芝生敷きにすることで，日常時には子どもを中心に市民が自然に触れながら遊んだり休んだりする場所にする。
- ・市民の広場は，公民館と児童センターを統合する建物と縁台等で繋

がりを出すことで、建物と一体となった広場として演出し利用する。

(2) 対象施設等の運営に関する提案とその効果

- ・民間事業者による指定管理。
- ・公民館，市民の広場，旧報徳銀行は一体的に管理運営することが適切。
- ・4施設（公民館，児童センター，市民の広場，旧報徳銀行）全体の運営は実績がある事業者指定管理で委託

(3) 対象施設等の活用アイデア

- ・カフェの営業，サイクリングの立ち寄れる店。
- ・新たな文化との出会いのきっかけの場。
- ・子育て家庭支援と多世代交流起点とする。

(4) 水海道市街地整備事業と連携して実施可能な事業の提案

- ・カフェや食事ができる場所の提供
- ・高校生が立ち寄り，利用できる場所の提供
- ・展示やミニコンサート，出張販売などの誘致
- ・子育て家庭が日常的に利用できる子育て支援の場がある事で，イベントへの地域の子育て世帯の参加率を向上させる子

(5) 水海道市街地エリアの魅力向上につながる提案

- ・空き店舗の活用による街中の雰囲気の変化
- ・空き店舗を活用したアウトドアの拠点整備
- ・民間が所有する施設との連携
- ・地域の子育て世帯が日常的に集まる場を作ることで，施設利用者が自然と市街地を通る生活導線が出来る。

(6) その他（事業全体に対する意見，市に期待する事項 等）

- ・道の駅と水海道市街地整備の相乗効果による街の発展
- ・こどもを中心に据えたまちづくりには，市民と一緒に地域やコミュニティを作り育てる仕組みと拠点作りが不可欠であると考える。

6 今後の方針

今回の調査結果では，公民連携による施設整備及び施設運営の効果を把握することができました。いただいた意見を参考に，事業の実施に向けて検討を進めてまいります。